

## 第三者評価結果報告書

総 括	
対象事業所名	あい保育園富岡東
経営主体(法人等)	株式会社 アイگران
対象サービス	認可保育園
事業所住所	〒236-0051 横浜市金沢区富岡東6-3-10
設立年月日	平成25年4月1日
評価実施期間	平成26年8月～27年1月
公表年月	平成27年 4月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市版
総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項等）	
<p><b>【施設の特徴】</b></p> <p>・ <b>立地及び施設の概要</b>            広島市にある株式会社アイگرانが運営する認可保育園で、平成25年4月1日に開園して、1年半になる保育園です。京急線富岡駅から徒歩で4分、国道16号線沿いの閑静な住宅街にあります。園舎は新築で、鉄骨造り3階建になっています。</p> <p>0～5歳児の定員60名（現在籍57名）の保育園で、「私たちは子ども達に自分の夢を自分の力で実現できる人になってほしい」の保育理念のもとに、運営方針を「自主性を育てます」「個性を大切にします」「思いやりの気持ちが育つ心の基地を目指します」「自然との触れ合いを大切にします」とし、園目標を「あかるくげんきにいっぱい遊ぼう」を掲げています。</p> <p>・ <b>特徴</b>            専門講師によるリトミックや栄養士による食育を保育の一環として実施しています。また、今年度から保護者と協力し、教材を使って子どもたちが自分で考えて製作することができるよう、自由な発想力や表現力を養っています。</p> <p>園内の保育室に子どもの様子が映るウェブカメラを設置し、保護者は職場などから携帯やスマートフォンで、常時子どもの様子を見たり、確認することができます。</p> <p><b>【特に優れていると思われる点】</b></p> <p><b>1. 子どもの生活の充実を図る取り組み</b>            子どもたちは散歩の途中、地域の人といつも元気にあいさつを交わしています。年長児のお泊り保育では、近隣の商店に買い物に行って会話をし、商店の人たちとも友好関係を築いています。また、地域で開催される「六地藏さん祭り」に園児が参加し、祭りの雰囲気を楽しんでいます。富岡ログハウスや地区センターへ行ったり、地域ケアプラザでは、高齢者と一緒に歌を歌ったり竹とんぼを製作したり、けん玉をするなどで交流し、子どもの生活の充実を図っています。</p> <p><b>2. 積極的な地域への子育て支援</b>            地域子育て支援拠点「とことこ」の情報誌に、園の一時保育や園庭開放、育児相談の実施を紹介し、子育て支援サービスを提供しています。一時保育は週3回、1日1～2名を受け入れています。また、園庭開放は、月1回実施し、園庭で遊んだ親子が乳児クラスに入って、園児と一緒に遊び、交流しています。開設2年目ですが、一時保育や園庭開放の利用者から、育児に関する相談を受け、子育て支援活動に積極的に取り組んでいます。</p>	

**【特に改善や工夫などを期待したい点】**

**1. 子ども本位の保育への取り組みを**

毎日の昼礼で職員は正義や勇氣などの徳目について振り返りをしていますが、子ども本位の保育を進めるうえで、子どもへの接し方や、言葉遣い、子どもに対する姿勢などについて園外研修に参加したり、「職員行動規範」などの園内研修を実施するなど、子どもの尊重に向けた一人一人の職員の資質向上の取り組みが求められます。

**2. 年齢や発達に応じた玩具、絵本などの充実や保育室内の環境設定**

各保育室に子どもの年齢や発達に応じた玩具や絵本をさらに充実することが望まれます。また、子どもが友だちや職員の視線を意識せずに過ごせるコーナーや衝立、仕切りのある環境の設定が望まれます。

**3. マニュアルの整備、職員への周知徹底と保護者対応**

安全管理や事故対応、個人情報管理についてのマニュアルは整備されていますが、事故の未然防止のための安全点検や保育士が配慮すべき事柄を具体的に示し、内容を全職員に周知することが望まれます。その上で保育中のけがなどについては、直ちに保護者に説明し、対応を徹底することが求められます。ウェブカメラの設置についても保護者の同意を得ることが求められます。

**評価領域ごとの特記事項**

**1.人権の尊重**

- 子どもの人格を尊重した接し方や声掛けができるよう、職員同士で行動を確認しています。園長は一部の声のトーンが高い職員に対しては常に言葉遣いについて注意しています。職員は急かすことなく、子どものペースに合わせ、わかりやすく話しかけ、子どもの気持ちを尊重するように心掛けています。
- 子どもと1対1で話合う場所として園庭や廊下の隅を利用し、プライバシーを守る空間として園長室や多目的室を利用しています。
- 守秘義務の遵守、個人情報の取扱いについては、入社時研修のほか、職員会議で確認し合っています。個人情報書類の園外の持出しは禁止され、個人情報ファイルは事務室の鍵のかかるキャビネットに保管しています。
- 遊びや行事の役割、服装などは男女の区別はせず、出席簿は月齢順にし、整列や給食時は性別に関係なくグループを作っています。職員は子どもに両親の役割について固定観念で話さないようにしています。

**2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供**

- 玩具や絵本、教材を子どもの手の届く位置に置き、ブロック遊びやお絵かき、絵本を読んだりして、自由に遊び込める時間が充分確保されています。
- 夏祭りや運動会では、子どもの発想で出し物や遊戯を選び、遊びや一斉活動時は約束やルールを守ることの大切さを伝えています。遊びを見つけられない子どもには、その子が興味を持ちそうな遊びや言葉かけをして、職員も一緒に遊びに関わっています。
- 園庭のプランターでトマトやジャガイモなどを栽培してクッキング保育の材料にしています。鈴虫を飼って観察し、絵を描いて園内に展示して、虫の成長を楽しんでいます。
- 「自然との触れ合いを大切にする」ことを園の方針とし、週2回程度は散歩に出かけ、途中で会う地域の人に挨拶を交わしています。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 乳児クラスのお絵かきでは、自由画帳にクレヨンで思い思いの絵を描き、幼児クラスのリトミックの時間では、ピアノに合わせてリズムをとり楽しんでいます。</li> <li>• 職員は乳児のケンカの際は仲介や代弁するなどの援助をし、幼児のケンカでは危険がないよう見守り、お互いの言い分や思いが言えるように関わっています。</li> <li>• 朝夕の合同保育のほか、親子遠足などの行事時は全園児をグループ分けし、異年齢同士が関わりを持てるようにしています。</li> <li>• ほぼ毎日、園舎前と屋上庭園で園庭活動を行い、紫外線対策用に夏は園庭に遮光ネットを張っています。散歩は発達段階に応じ行先や歩行距離を変えています。</li> </ul>
<p><b>3.サービスマネジメントシステムの確立</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 園内・園外ともに段差のないバリアフリー仕様になっています。また、障がい児が利用できるエレベータや多目的トイレを設置しています。</li> <li>• 虐待が疑わしい場合や見守りが必要になったときには、保護者の様子や、子どもの様子をよく観察し、受け入れ時、あざやけがなどがなくないかなど、詳細に観察をし、全職員で注意して見守っています。</li> <li>• 園は設置法人や横浜市中央児童相談所、関係機関との連携を綿密にとる等、連携体制をとっています。</li> <li>• 入園時の面接や、かかりつけ医の指示によって、食物アレルギーと判明したとき、保護者と栄養士が面談し、除去食を提供しています。</li> <li>• アレルギー食の必要な子どもについて、職員会議などで全職員に周知し、園全体で取り組んでいます。</li> <li>• 健康管理マニュアルがあり、毎日の観察や検温で子どもの健康状態をチェックし、アレルギー疾患などの既往症は入園前の面談や書類で把握しており、職員間で周知しています。保護者に子どものその日の健康状態や様子を連絡ノートや口頭で伝えています。</li> <li>• 安全危機管理マニュアルが完備され、事務室に緊急連絡先が掲示され、緊急時の職員の役割分担が決められています。保育室の遊具棚は固定され、ロッカーの下には耐震ジェルを敷き、棚は落下防止のために滑り止めマットが敷かれています。毎月、地震・火災を想定した避難訓練が行われ、幼児では広域避難場所や地域防災拠点への避難訓練を実施しています。</li> <li>• 事務室に病院、緊急機関、警察・消防、地域防災拠点などを掲示し、保護者への連絡は電話や緊急時メール配信システムを使っています。</li> <li>• 子どものケガは必ず保護者に報告し、事故報告書やヒヤリハットに記入し、職員会議や昼礼で報告し、再発防止・改善策について話し合っています。</li> <li>• 不審者対応マニュアルがあり、侵入時の合言葉や職員の園内配置を決め、年2回不審者対応訓練を実施しています。門は施錠し、カメラ付きのイン</li> </ul>

	<p>ターフォンで送迎者の氏名と送迎カードを確認してから、解錠しています。不審者情報ネットワーク「まちcomi」（子どもたちの安全を守る緊急連絡網ツール）に登録し、近隣の不審者情報を把握しています。</p>
<p>4.地域との交流・連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 金沢区地域子育て支援拠点「とことこ」と連携し、とことこ発行の情報誌を通じ、育児相談、一時保育、園庭開放などの地域住民の要望を把握しています。金沢区の幼保小交流事業ブロック研究会に参加し、テーマ別の検討会を行うほか、並木・富岡東地区の園長・主任会、保育士間の交流、年長児の交流が行われています。</li> <li>• 職員会議で子育て支援ニーズについて話し合い、一時保育は週3日をメドに受入れ、月1回の園庭開放日は子育て相談と併せて行い、参加した乳児が乳児クラスで子どもたちと一緒に交流しています。</li> <li>• 園庭開放・育児相談のポスターを園のフェンスに常時掲示し、運動会・夏祭りにはポスターを貼り、また、金沢区の子育て情報誌に一時保育などの情報を掲載し、利用を呼びかけています。</li> <li>• 病院・区役所・学校などの関係機関・団体一覧表が園長室に掲示され、幼保小関係は主任、地域の園との交流関係は年長児担当、その他関係機関との連携は園長が担当しています。</li> <li>• 金沢区こども家庭支援課、地域子育て支援拠点とことこ、横浜中央児童相談所、横浜市南部地域療育センターなどの関係機関と常時連絡を取り合い、連携できる関係にあります。</li> </ul>
<p>5.運営上の透明性の確保と継続性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 運営理念は「私たちは子ども達に自分の力で実現できる人になってほしいと願っています」、基本方針は「自主性を育てます」「個性を大切にします」「思いやりの気持ちが育つ心の基地を目指します」「自然との触れ合いを大切にします」を掲げ、子ども本人を尊重するものになっています。（「心の基地」とは、子どもの心の拠り所）</li> <li>• 設置法人のホームページに園の情報を掲載し、金沢区のホームページにも園の情報を掲載しています。また、金沢区で開催するイベントの際には、園のパンフレットを置かせてもらい、園を紹介しています。</li> <li>• 研修や監査、利用者アンケートなどで得られたことを、職員で話し合い、勉強会を実施しています。</li> <li>• 園として守るべき法、規範、倫理などは、入社前・採用時に説明し、新たに必要な事項があれば、園内に掲示して周知しています。特に行動規範については文章にして、各職員に配付されています。</li> <li>• 設置法人の経営状況・運営状況は設置法人から通達されます。ただし、一般の職員には公表はしていませんが、重要部分は園長から職員会議で伝えていきます。</li> <li>• 空き牛乳パックで子どもたちの帽子入れや靴下入れなどを作り、廃材を利用して遊びのおもちゃ等の製作を行ったりサイクルを行っています。必要のない場所の電気・エアコンをこまめに消すなどで、省エネを実施していま</li> </ul>


	<p>す。園庭は芝生を敷き詰め、緑化に貢献しています。環境への考え方は設置法人統一の保育方針に明文化しています。</p>
<p><b>6.職員の資質向上の促進</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保育所運営に必要な職員の人材構成は、園長がチェックし、不足があれば設置法人に相談し、補充をしています。</li> <li>• 人材育成ビジョンに沿って、運営理念や保育基本方針に沿った人材の育成をめざしています。</li> <li>• 職員・園長は所定の評価シートで、自己評価票を年1回作成して設置法人へ提出しています。また、その自己評価に基づいて年3回園長との面接があり、アドバイスを受けています。</li> <li>• 研修は、常勤職員・非常勤職員ともに受講できるようになっています。研修会の資料などで、個人で目標を持って自主的に参加するようにしています。</li> <li>• 園内で勉強会があり、研修内容などをみんなで話し合い、スキルを高めています。非常勤職員にも研究発表会の機会を設けてスキルアップを図っています。</li> <li>• 研修結果は、園長などが評価して、研修計画に反映しています。今まで絵画研修、発達支援研修、嘔吐処理研修、手作りおもちゃ研修の結果を保育に活かしています。</li> <li>• 職員配置は保育レベルや勤務時間などを考慮して、常勤職員と非常勤職員を組み合わせて体制を組んでいます。</li> <li>• 研修や監査、利用者アンケートなどで得られたことを、職員で話し合い、勉強会を実施しています。毎日の「ありがとう昼礼」で、保育の姿勢や、サービスの本質とは、正確性と相手の立場に立って思いやる心として「良い習慣を作る13の徳目」について箇条書きにし、当番を決めて「ありがとう昼礼」で発表しています。</li> <li>• 職員の育成ビジョンや、職員の役割分担は明確にして、明文化されています。</li> <li>• 各職員は子どもの状況に応じて、子どもの対応はクラスごとに、階ごとにリーダーを配置しているので、それぞれが自主的な活動を行っており、権限は委譲されています。重要な事項については、事前または事後に報告するようになっています。</li> <li>• 職員からの改善提案など、日常的には普段の会話や職員会議の中で提案があります。</li> <li>• 園長は、個人面談や、日常的な会話の中から職員の満足度や要望などを聞き取って把握しています</li> </ul>

## 評価機関による評価



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

### 評価領域Ⅰ 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営理念は「私たちは子ども達に自分の力で実現できる人になってほしいと願っています」、基本方針は「自主性を育てます」「個性を大切にします」「思いやりの気持ちが育つ心の基地を目指します」「自然との触れ合いを大切にします」を掲げ、子ども本人を尊重するものになっています。（「心の基地」とは、子どもの心の拠り所）</li> <li>・保育理念・基本方針に沿った保育を心がけ、子ども達が家庭にいるような環境で、安心して過ごせるように努めています。そして、子どもの成長そのものが最大の利益と考えて保育をしています。</li> <li>・「ありがとう昼礼」で、職員がみんなの前で、日常的な出来事を発表し、お互いにサービスの本質や感謝の気持ちを確かめ合っています。</li> <li>・保育課程は、子どもの最善の利益を第一義とし、保育理念、保育方針を踏まえて、園目標は「あかるくげんきにいっぱいあそぼう」とし、季節に応じた行事、絵本や童話などを通じ昔ながらの慣習に親しみ、創造力や理解力を育めるよう努めることを保育姿勢としています。</li> <li>・指導計画は、年間指導計画、月間指導計画、週案を、それぞれ年齢ごと（クラスごと）に作成しています。</li> <li>・子ども達の意見や要望を、子どものつぶやきや、表情からくみ取り、自主性が持てるように指導計画を柔軟に変更するなどしています。</li> </ul>

### I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- ・保護者とは入園前面接のときに、園長・主任・担任・看護師が約10分程度、個別面談をし、子どもの様子や家庭の状況などを、把握しています。
- ・入園前面接では、子どもも一緒に来園してもらい、園の職員が子どもの遊ぶ様子などをよく見ながら観察をしています。その結果は、面談表に記録しておいて、入園後の保育に活かしています。
- ・入園前には、所定の様式に生育歴や家庭での状況を記入してもらい、個人票にファイルし、管理しています。
- ・慣らし保育は入園前に十分説明し、納得してもらった上で実施しています。4日間程度をめぐり、初めは1日の時間を少なくし、徐々に長くしながら、実施しています。ほとんどの保護者が参加して、子どもがスムーズに園生活になれるように支援しています。
- ・0、1歳児の新人園児については主担当保育者を決めており、子どもの不安をなくすように保育をしています。
- ・子どもの家庭と保育園との連携を図ったり、お互いの情報連絡を密にするために、連絡帳にそれぞれの1日の様子や体調、出来事などを記入し、連携を図っています。また、頑張れたこと、初めてできたこと、楽しかったことや質問に答えたりしています。
- ・子どもの発達や状況に応じられるように、各指導計画はクラスごとに作成し、クラス単位で計画を評価し、見直し次月につなげています。

### I-3 快適な施設環境の確保



- ・保育園自体がまだ新しいということもあり、屋内・外とも清掃が行き届き、清潔に保っています。屋内外ともに職員が分担して清掃を行い、「おそうじチェック表」に記録し、確認しています。
- ・保育室内は、午前・午後の2回、温湿度を計測し調節しています。訪問調査時は、室温20℃、湿度50%であり、適温湿度を保っています。
- ・全保育室は窓に面しており、陽光は十分取り入れられています。また、天窓を開けたり、換気扇を回し、午睡中は窓を少し開けておくなど、換気に配慮しています。
- ・職員は音楽や職員の声が大きくなりすぎないように気を配り、お互いに注意し合いながら保育しています。
- ・沐浴設備が乳児室に整備されています。
- ・乳児室および屋上には温水シャワー設備があり、排便の汚れや下痢時のお尻洗いに温水シャワーを使って、子どもの体を清潔に保っています。
- ・乳児室は、サークルや仕切りを使って小集団保育を行っています。
- ・食事の時間や午睡の時間は、食事の空間、寝る空間それぞれを作り、過ごしています。
- ・朝・夕の合同保育の時間には、異年齢で交流ができるようになっており、おもちゃもそれぞれの年齢の子どもたちが一緒に遊べるようなものを配置しています。

#### I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



・0～3歳未満児には、毎月、それぞれの子どもに対応した個別月間指導計画を作成しています。

・幼児について特別な課題がある子どもは、個別指導計画を作成して対応しています。また、気になる子どもについては保健師と連携して対応しています。保育日誌に子どもの様子や変化などを記録して、職員会議で職員が話し合い周知しています。

・個別指導計画は原則として月1回見直しをしています。子どもに変化のあった場合は、職員で話し合い、その都度計画の変更をしています。

・個別指導計画を作成したり、変更した場合は、送迎時や面接時に保護者に話して了解を得ています。

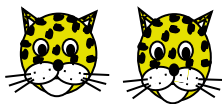
・小学校就学前には、保育所児童保育要録を作成して、該当する小学校へ送付または届けています。

・個々の児童票には、毎月、身体測定を実施し、発達記録に記入、保護者からの要望も個別面談記録に記入し、個人別にファイルしています。

・職員は、発達状況を記録した個々の児童票を必要に応じて閲覧し、それを基に日常保育に活かしています。

・年度末に、時間を設けて進級後の担当職員に児童票をもとに申し送りをしています。

#### I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



・職員会議の中で、配慮を要する子どものケースについて話し合いが行なわれ、情報を共有して議事録を作成しています。

・園内・外ともにも段差のないバリアフリー仕様になっています。また、障がい児が利用できるエレベーターや多目的トイレを設置しています。

・虐待が明白になった場合は、中央児童相談所や金沢福祉保健センターなどに通報できる体制があります。

・虐待が疑わしい場合や見守りが必要になった時には、保護者の様子や、子どもの様子をよく観察し、受け入れ時、あざやけなどがなくないかなど、詳細に観察をするなど、全職員で注意して見守っています。

・園は設置法人や中央児童相談所、関係機関との連携を綿密にとる等、連携体制をとっています。

・入園時の面接や、かかりつけ医の指示によって、食物アレルギーと判明したとき、保護者と栄養士が面談し、除去食を提供しています。

・アレルギー食の必要な子どもについて、職員会議などで全職員に周知し、ファイルし、園全体で取り組んでいます。

・外国籍の子どもについて文化や生活習慣に違いがある場合は、お互いを認め合いながら、世界地図や絵本などで説明し、理解できるようにしています。

<コメント・提言>

・現段階では障がい児がいないため個別指導計画は作成していません。今後、障がいについての学習会等を実施することが望まれます。

・外国籍の子どもなど、意思疎通が難しい子どもや保護者への対応策についての検討が望まれます。



評価分類

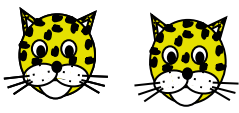
評価の理由（コメント）

I-6 苦情解決体制



- ・園の苦情解決の方法の一つとして、保護者から直接第三者委員に苦情を申し立てることができるようになっていました。第三者委員には地域の町内会長および副会長が就任しています。
  - ・玄関にご意見箱を設置し、クラス懇談会などで、苦情や意見を聞くようにしています。また、行事の際にはアンケートを取り、要望や意見を聞いています。
  - ・園に対して直接言いにくい要望や意見がある場合も含めて、設置法人より、定期的に所定のアンケート用紙を配付し、保護者が直接設置法人へ郵送して収集する仕組みがあります。
  - ・園児からの要望などは、日常的に園長をはじめ各職員が子どもとなんでも話し合えることができるような雰囲気を作っています。
  - ・子どもの権利擁護機関として、横浜市福祉調整委員会のポスターを園内に掲示して、保護者に紹介しています。その他の関連機関として、金沢区こども家庭支援課や中央児童相談所を紹介しています。
  - ・苦情や要望があった場合、苦情対応処理表に内容を記入し、職員会議で、原因や対応策を話し合い、その結果を報告書としてまとめ、全職員が周知し、解決策を実施しています。
  - ・過去の事例は報告書にまとめられ、さらに原因を追究するとともに、二度と同じ問題が発生しないような対応策を講じています。
- <コメント・提言>
- ・園単独で解決できないような問題に対しては、日常的に外部の相談機関と連携し、相談しやすい環境を作っておくことが望まれます。

## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅱ-1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"><li>・玩具や絵本、教材を子どもの手の届く位置に置き、ブロック遊びやお絵かき、絵本を読んだりして、自由に遊び込める時間が充分確保されています。</li><li>・夏祭りや運動会では、子どもの発想で出し物や遊戯を選び、遊びや一斉活動の際は約束やルールを守ることの大切さを伝えています。遊びを見つけられない子どもには、興味を持ちそうな遊びや言葉かけをして、職員も一緒に遊びに関わっています。</li><li>・園庭のプランターでトマトやジャガイモなどを栽培し、クッキング保育の材料にしたり、鈴虫を飼い観察し、絵を描いて園内に展示して、虫の成長を楽しんでいます。</li><li>・「自然との触れ合いを大切にする」ことを園の方針とし、週2回程度は散歩に出かけ、途中で会う地域の人に挨拶を交わしています。</li><li>・乳児のお絵かきでは、自由画帳にクレヨンで思い思いの絵を描き、幼児のリトミックでは、ピアノに合わせてリズムをとり楽しんでいます。</li><li>・職員は乳児のケンカ時は仲介、代弁するなどの援助をし、幼児のケンカ時は危険がないよう見守り、お互いの言い分や思いが言えるように支援しています。</li><li>・朝夕の合同保育のほか、親子遠足などの行事時は全園児をグループ分けし、異年齢同士が関わりを持てるようにしています。</li><li>・ほぼ毎日、園舎前と屋上庭園で戸外活動を行い、紫外線対策用に夏は園庭に遮光ネットを張っています。散歩は発達段階に応じ行先や歩行距離を変えています。</li></ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・子どもの発達に見合った玩具・絵本の充実とコーナーなどの子どもが落ち着いて遊べる環境作りが望まれます。</li><li>・利用者家族アンケートで戸外遊びに対して、23%が否定的回答をしています。自然との触れ合いの機会を一層持たれることが望まれます。</li></ul>

## II-1 保育内容[生活]



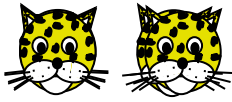
- ・子ども一人一人の盛りつけを調整して、すべて残さず食べることや野菜嫌いの子どもの無理に食べさせようとはせず、食べたらほめて一緒に喜びを共有しています。乳児では子どものほしがる時に抱っこや声掛けをしながら授乳し、離乳食は子どものペースで食べています。
- ・職員は食事前に今日の献立を伝え、年長児ではその日の当番が食事前の挨拶・配膳・盛り付けをし、食事後は子どもたちで食器の片付けをしています。
- ・食材は旬で無添加・国産のものをを使い、手作りを基本とし、行事食や誕生会では楽しい盛り付けを工夫しています。落ち着いた雰囲気食べられるよう、食事の場と遊ぶ場を分けています。食器はセラミック陶器を使い、食具は年齢に合わせたものを使っています。
- ・栄養士は食事中に各保育室を周り、子どもの好き嫌いを把握し、調理方法や味付けを工夫し、毎月の給食会議で残食状況や食事状況を話し合い、翌月の献立や調理方法に反映しています。
- ・毎月献立表を保護者に配付するとともに、給食だよりを発行し、季節に応じた献立作成のポイントや子どもたちに好評のレシピ、おやつなどの情報を提供しています。また、給食とおやつのサンプルを毎日玄関に掲示しています。給食試食会を開催し、保護者に園での食事に関心を持ってもらっています。
- ・午睡は眠れない子どもや眠くない子どもに、子どもの体調を考慮し声掛けし、見守っています。乳幼児突然死症候群対策として0歳児は5分ごと、1歳児は10分ごとに睡眠チェックをしています。年長児は卒園アルバムの制作などをして静かに過ごしています。
- ・排泄は排泄チェック表を使い、個人差を尊重して対応をし、トイレトレーニングは家庭と連携し、それぞれのペースで個別に進めています。お漏らしをした子どもに対しては、「大丈夫、今度教えてね」と声を掛け、安心感を与えるようにしています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理[健康管理]



- ・健康管理マニュアルがあり、毎日の観察や検温で子どもの健康状態をチェックし、アレルギー疾患などの既往症は入園前の面談や書類で把握しており、職員間で周知しています。
- ・保護者に子どものその日の健康状態や様子を連絡ノートや口頭で伝えています。歯磨き指導は2才から始め職員による仕上げ磨きを行い、年に1回の歯科健診時に歯科衛生士が歯磨き指導を行っています。
- ・内科健診は年2回、歯科健診は年1回実施し、結果は保護者に伝え、異常があれば医師の受診を薦めています。
- ・感染症マニュアル及び感染症拡大防止マニュアルがあり、感染症の疑いが生じた場合の対応や感染症の出席停止基準については、入園時に重要事項説明書により保護者に説明しています。園内で感染症が発生した際は園のお知らせボードに掲示し、拡大防止に努めています。また、感染症が流行している際は、市の感染症情報を掲示したり、園だよりで保護者に注意を喚起しています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



・衛生管理マニュアルが完備しており、マニュアルの見直しは設置法人で随時行っています。衛生管理マニュアルの研修は入社時に行われていますが、その後の研修は全職員に実施されていません。降園後、登園前に園内の拭き掃除は「お掃除チェック表」を使って毎日行い、園内は清潔な状態を保っています。

<コメント・提言>

・マニュアルの見直し、改訂は職員からの情報や提言も取入れ改訂するとともに、マニュアルにそって衛生管理が行われるよう、年に1回は職員に対する研修を実施することが望まれます。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



・安全危機管理マニュアルが完備され、事務室に緊急連絡先が掲示され、緊急時の職員の役割分担が決められています。保育室の遊具棚は固定され、ロッカーの下には耐震ジェルを敷き、棚は落下防止のために滑り止めマットが敷かれています。毎月、地震・火災を想定した避難訓練が行われ、幼児では広域避難場所や地域防災拠点への避難訓練を実施しています。

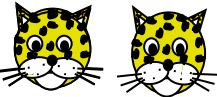

・事務室に病院、救急機関、警察・消防、地域防災拠点（小学校）などを掲示し、保護者への連絡は電話や緊急時メール配信システムを使っています。

・子どものケガは保護者に報告し、事故報告書やヒヤリハットに記入し、職員会議や昼礼で報告し、再発防止・改善策について話し合っています。



・不審者対応マニュアルがあり、侵入時の合言葉や職員の園内配置を決め、年2回不審者訓練を実施しています。門は施錠し、カメラ付きのインターフォンで送迎者の氏名と送迎カードを確認してから、開錠しています。不審者情報ネットワーク「まちcomi」（子どもたちの安全を守る緊急連絡網ツール）に登録し、近隣の不審者情報を把握しています。

<コメント・提言>



・利用者家族アンケートの「子どもの保育中のケガに関する保護者への説明・対応」で不十分であるとの意見が寄せられています。軽傷であっても必ず保護者に状況報告する体制作りが望まれます。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>II-3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの人格を尊重した接し方や声掛けができるよう、職員同士で行動を確認しています。園長は一部の声のトーンが高い職員に対しては常に言葉遣いについて注意しています。職員は急かすことなく、子どものペースに合わせ、わかりやすく話しかけ、子どもの気持ちを尊重するように心掛けています。</li> <li>・子どもと1対1で話合う場所として園庭や廊下の隅を利用し、プライバシーを守る空間として園長室や多目的室があります。</li> <li>・守秘義務の遵守、個人情報の取扱いについては、入社時研修のほか、職員会議で確認し合っています。個人情報書類の園外の持出しは禁止され、個人情報ファイルは事務室の鍵のかかるキャビネットに保管しています。</li> <li>・遊びや行事の役割・服装などは男女の区別はせず、出席簿は月齢順にし、整列や給食時は性別に関係なくグループを作っています。職員は子どもに両親の役割について固定観念で話さないようにしています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもへの接し方や言葉遣いについて、園内研修などを活用し徹底していくことが望まれます。</li> <li>・子どもが一人で過ごせる場所として、職員が目が届く保育室の一隅につい立などの仕切りを作るなどの工夫が望まれます。</li> <li>・保育中の子どもの様子を見ることができるウェブカメラについて、個人情報の観点から、入園時に保護者から了解を得ておくことが望まれます。</li> </ul>
<p>II-4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に対しては、入園時に重要事項説明書で保育方針や園目標について説明しています。毎月発行の園だよりに園目標を載せ、連絡帳は保育方針が伝わるような記入を心がけています。</li> <li>・職員は送迎時に保護者と子どもの様子を伝えあい、0歳児～2歳児は連絡帳、3歳児以上は「クラスノート」を使い、園での子どもの様子を伝えています。保護者との個人面談は年2回、クラス別保護者懇談会は年3回実施し、保護者の意向を聞き、園での保育の取組み状況や行事などについて説明しています。</li> <li>・保護者からの相談は園長室や空いている保育室を利用しています。相談を受けた職員が対応できない場合は、園長や主任などに相談して対応できるようにしています。</li> <li>・園だよりやクラスだより、給食だよりを毎月発行し保護者に配付しています。行事の写真やクラスの様子を撮った写真を保育室に掲示し、「ウェブカメラ」で保護者が職場などで日常の保育の様子を見ることができます。</li> <li>・年度初めに年間行事予定表を保護者に配付しています。保育参観（年1回）、保育参加（年2回）を実施し、保育参観欠席者には口頭やクラスだよりで様子を伝えています。</li> <li>・保護者会が組織され、保護者役員会が行事前に開催され、園長・主任・行事担当が出席し、園行事に向けての話し合いをしています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と連携し保育を進めていくためにも、保護者アンケートなどで理念や基本方針についての理解度を把握していくことが望まれます。</li> </ul>

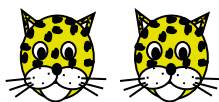
評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<p>・金沢区地域子育て支援拠点「とことこ」と連携し、とことこ発行の情報誌を通じ、育児相談、一時保育、園庭開放などの地域住民の要望を把握しています。区の幼保小交流事業ブロック研究会に参加し、テーマ別の検討会を行うほか、並木・富岡東地区の園長・主任会、保育士間の交流、年長児の交流が行われています。</p> <p>・職員会議で子育て支援ニーズについて話し合い、一時保育は週3日をメドとし受入れ、月1回の園庭開放日は子育て相談と併せて行い、参加した乳児が在園児の子どもたちと一緒に交流しています。</p> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <p>・今後、子育てに関する講習会などの開催を検討していくことが期待されます。</p>
<p>Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<p>・園庭開放・育児相談のポスターを園のフェンスに常時掲示し、運動会・夏祭りにはポスターを貼り、また、区の子育て情報誌に一時保育などの情報を掲載し、利用を呼びかけています。また、園のパンフレットを区地域子育て支援拠点「とことこ」に置き、情報提供に努めています。</p> <p>・病院・区役所・学校などの関係機関・団体一覧表が園長室に掲示され、幼保小関係は主任、地域の園との交流関係は年長児担任、その他関係機関は園長がそれぞれ担当しています。</p> <p>・区こども家庭支援課、地域子育て支援拠点「とことこ」、中央児童相談所、南部地域療育センターなどの関係機関と常時連絡を取り合い、連携できる関係にあります。</p> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <p>・育児相談は現状月1回の実施に留まっていますが、今後、少なくとも週1回相談日を設け、対応していくことが望まれます。</p>

## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の行事として毎年実施している夏祭り、運動会、卒園式に町内会の会長、副会長を招待しています。</li> <li>・幼保小連絡会に参加したり、富岡小学校や富岡東中学校の交流会に参加しています。</li> <li>・地域への貢献として、地域の人に園庭開放をしています。地域の人に園庭を休憩場所として開放したり、災害時には、園の屋上を開放することなど広報しています。</li> <li>・近隣との友好関係を良好に保つため、散歩のときなどは、途中で会う地域の人たちと挨拶を積極的にかかわすことや、富岡東地域ケアプラザなどで行っている行事に参加するなど、友好関係に努めています。</li> <li>・日常的な散歩のときに、すれ違う近隣の人に、職員ともども、子どもも大きな声で挨拶を交わしています。また、お泊り保育のときには地域のスーパーで食料品などの買い物をしています。</li> <li>・近隣の保育園の年長児交流だけでなく、園長・主任・保育士間の交流も積極的に行っています。また、小学校の学校行事で公開授業にも、日常の保育に支障のない限り参加しています。</li> <li>・園の運動会は、近隣にある小学校の富岡小学校の体育館を借りて実施しています。</li> <li>・金沢区の花火大会や、地域の行事である「六地藏さん祭り」があるときには、園内にお知らせをしたり、参加をしています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の団体や町内会・ボランティアグループとは計画的に交流を図るまでには至っていません。まだ、設立間もないので、今後の課題として、進めることが望まれます。</li> </ul>
<p><b>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人のホームページに園の情報を掲載し、金沢区のホームページにも園の情報を掲載しています。また、金沢区で開催するイベントの際には、園のパンフレットを置いて、園を紹介しています。</li> <li>・外部の情報媒体として、金沢区地域子育て支援拠点「とことこ」の情報誌に掲載してもらって園を紹介しています。</li> <li>・「あい保育園富岡東ご利用のしおり」（重要事項説明書）を発行しており、その中にサービス内容、料金、職員体制（職員のクラス編成）などが盛り込まれています。入園希望者や入園の際に配付されます。</li> <li>・園についての問い合わせは、園長と主任がいつでも対応できる体制になっています。</li> <li>・電話などで問い合わせのあった利用希望者には、見学ができることを伝えています。</li> <li>・見学の日時などについては、保育時間や午睡などの園での時間帯を伝え、利用者の見学したい内容や、日時を聞いた上で決めています。</li> </ul>

#### IV-3 実習・ボランティアの受け入れ



・ボランティア受け入れマニュアルが整備されています。職員にはマニュアルに基づいて、研修などでボランティア受け入れの考え方や方針を話しています。

・ボランティア受け入れ・育成担当者は園長が担っています。ボランティア活動記録が準備されていますが、実績がありません。


・実習生受け入れマニュアルが整備されています。職員にはマニュアルに基づいて、研修などで実習生受け入れの考え方や方針を話しています。

・実習生の受け入れは園長・育成担当者は主任が担っています。



<コメント・提言>

・ボランティア・実習生の受け入れの実績がありません。ボランティア・実習生を受け入れ、今後の保育園運営に活かしていくことが望まれます。

### 評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>V-1 職員の人材育成</b></p> 	<p>・保育所運営に必要な職員の人材構成は、園長がチェックし、不足があれば設置法人に相談し、補充をしています。</p> <p>・人材育成ビジョンに沿って、運営理念や保育基本方針に沿った人材の育成をめざしています。</p> <p>・園長、職員は所定の評価シートで、自己評価票を年1回作成して設置法人へ提出しています。また、その自己評価に基づいて年3回園長との面接があり、アドバイスを受けています。</p> <p>・研修は、常勤職員・非常勤職員ともに受講できるようになっています。研修会の案内があった場合は、個人で目標を持って自主的に参加するようにしています。</p> <p>・研修受講後は、研修内容を報告書にまとめ、提出しています。</p> <p>・園内で勉強会があり、研修内容などをみんなで話し合い、スキルを高めています。非常勤職員にも研究発表会の機会を設けてスキルアップを図っています。</p> <p>・研修結果は、園長などが評価して、研修計画に反映しています。今まで絵画研修、発達支援研修、嘔吐処理研修、手作りおもちゃ研修の結果を保育に活かしています。</p> <p>・職員配置は保育技術のレベルや勤務時間などを考慮して、常勤職員と非常勤職員を組み合わせる体制を組んでいます。</p> <p>・非常勤職員の指導は、クラス担任が主担当で、園長・主任も指導に当たっています。</p>



評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>V-2 職員の技術の向上</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員個々の自己評価は年1回、定期的に行われていたが、保育所としての自己評価は行われていません。</li> <li>・研修や監査、利用者アンケートなどで得られたことを、職員で話し合い、勉強会を実施しています。毎日の「ありがとう昼礼」で、保育の姿勢や、サービスの本質とは、正確性と相手の立場に立って思いやる心として「良い習慣を作る13の徳目」について箇条書きにし、当番を決めて「ありがとう昼礼」で発表しています。</li> <li>・指導計画の様式は、ねらいと評価・反省欄が同じ様式の中にあり、比較しながら記入できるようになっています。</li> <li>・クラス全体の様子や子どもの成長、その日の体調なども踏まえて評価・反省をしています。</li> <li>・職員の自己評価は、クラスで話し合っています。その際、今後の課題なども話し合っており、今後の目標に反映しています。</li> <li>・職員の自己評価の結果は、クラスで話し合い、今後の保育の姿勢などを話し合い、改善を行っています。</li> <li>・自己評価や日々の日誌の中から反省事項を園長が把握し、職員会議の議題として話し合っています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、個々の自己評価から、保育所としての自己評価を全職員で話し合い、課題を抽出して、その結果を工夫して公表することが期待されます。</li> </ul>
<p><b>V-3 職員のモチベーションの維持</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の育成ビジョンや、職員の役割分担は明確にして、明文化されています。</li> <li>・各職員は子どもの状況に応じて、子どもの対応はクラスごとに、階ごとにリーダーを配置しているため、それぞれが自主的な活動を行っており、権限は委譲されています。重要な事項については、事前または事後に園長に報告するようになっています。</li> <li>・職員からの改善提案など、日常的には普段の会話や職員会議の中で提案があります。</li> <li>・園長は、個人面談や、日常的な会話の中から職員の満足度や要望などを聞き取って把握しています。</li> </ul>

## 評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園として守るべき法、規範、倫理などは、入社前・採用時に説明し、新たに必要事項があれば、園内に掲示して周知しています。特に職員行動規範については文章にして、各職員に配付されています。</li> <li>・設置法人の経営状況・運営状況は設置法人から通達されます。ただし、一般の職員には公表はしていませんが、重要部分は園長から職員自会議で伝えています。</li> <li>・空き牛乳パックで子ども達の帽子入れや靴下入れなどを作ったり、再利用を図っています。廃材（トイレトペーパーの芯、牛乳パック）を利用して遊びのおもちゃ等を製作し、リサイクルをしています。</li> <li>・必要のない場所の電気・エアコンをこまめに消すなどで、省エネを実施しています。</li> <li>・園庭は芝生を敷き詰め、緑化に貢献しています。</li> <li>・環境への考え方は設置法人統一の保育方針に明文化しています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他施設での不正や不適切事例について、設置法人や、広報・新聞ニュースなどから収集し、職員などに伝えていき、日常の保育にも緊張感をもってあたることを期待されます。</li> </ul>
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営理念や保育基本方針は、玄関や職員更衣室に掲示して、いつでも見られ、確認ができるようになっています。</li> <li>・日常の保育が、理念から外れたりした場合には、事例を基に、理念に沿った保育になるように軌道修正しています。</li> <li>・現在は経験豊富な主任が在籍していますので、主任養成プログラムは特にありません。ただし、現在設置法人で人材育成委員会を設置して、人材育成ビジョンを作成中です。</li> <li>・主任は個々の職員の体調や勤務内容や時間に配慮し、職員を管理しています。個々の職員の能力や人柄などを把握しており、有効に機能しています。また、個々の職員によく話しかけ、健康や、悩みなどないかどうか把握して励ましたり、注意したりしています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が運営理念や基本方針を周知・理解しているかどうか少なくとも年1回程度は確認することが望まれます。</li> <li>・主任クラスの職員を計画的に育成するためのプログラムの作成が望まれます。</li> <li>・重要事項の決定については、保護者には通知だけでなく、その理由や、経過、進捗状況などについて保護者と継続的に話し合い、理解や協力を得ることが期待されます。</li> </ul>

### VI-3 効率的な運営



・園長会は設置法人のある広島で行い、収集・分析した事業運営に影響のある事項については、園長が園に持ち帰って職員に周知しています。

・園長会の内容や、園としての重要な課題については、職員会議で話し議事録に残し、職員に周知しています。課題解決に向かって実施する事項は、全職員で保育所全体としての取り組みをしています。

特に今年度は、広島のと砂災害を踏まえた取り組みや、台風・雪の情報に対して、より念入りに情報を収集し、分析の上対応するようにしています。

・2014年12月期～2016年12月期までの3年間の設置法人としての中期事業計画を作成しています。

内容は1) 経営理念、2) 中期事業計画の概要、3) 全社方針達成に向けた施策、4) 計画数値の概要、5) P L 計画(連結決算)となっています。

・次世代の施設運営について、設置法人で後継者を育成しています。

・設置法人では外部の専門家や外部の機関から意見や情報を取り入れる努力をしています。

<コメント・提言>

・設置法人の中・長期計画はありますが、今後は、園単独の中・長期計画を作成し、保育園としての中・長期的な見通しを立て、運営をすることが望まれます。

# 利用者家族アンケート

施設名: あい保育園 富岡東

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## 結果の特徴

### ◇ 調査対象

調査時点での在園児数56名、全保護者43家族を対象とし、回答は30家族からあり、回収率は70%でした。

### ◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収しました。

### ◇ 総合満足度

施設に対する総合評価は、肯定的な回答が87%(満足37%、どちらかといえば満足50%)となっており、否定的な回答は13%(どちらかといえば不満13%、4人)となっています。

### ◇ 比較的満足度の高い項目

1)「園の基本理念や基本方針の認知について」の回答(よく知っている、まあ知っているの合計)は83%で、この全員が内容について賛同できると回答しています。

2)入園した時の状況の設問で、「園の目標や方針についての説明には」の回答で(「満足、どちらかといえば満足」の合計)は94%と高い評価でした。

3)日常の保育内容 生活についての設問で、「給食の献立内容について」の回答(「満足、どちらかといえば満足」の合計)は94%、「お子さんの体調への気配りについて」の回答は、同93%と高い評価でした。

4)園と保護者との連携・交流についての設問で、「園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供について」の回答(「満足、どちらかといえば満足」の合計)は94%、「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会について」は同90%でした。

5)職員の対応について、「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか」の回答(「満足、どちらかといえば満足」の合計)は94%と高い評価でした。

### ◇ 比較的満足度の低い項目

1)職員の対応について、「意見や要望への対応について」の設問に対し、「どちらかといえば不満、不満の合計」は23%、「お子さんが大切にされているかについて」は20%ありました。

2)保育園の快適さや安全対策について、「感染症の発生状況や注意事項などの情報提供について」の設問に対し、「どちらかといえば不満、不満」の合計は、23%ありました。

3)日常の保育内容 遊びについて「子どもが戸外遊びを十分しているかについて」、「自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動について」の設問で、「どちらかといえば不満、不満の合計」は、それぞれ23%、13%ありました。

4)園と保護者との連携・交流についての設問で、「開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応」、「送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換について」の設問に対し、「どちらかといえば不満、不満」の合計は、それぞれ23%、20%ありました。

## 調査結果

### ■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	23%	60%	10%	7%	0%	0%

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

#### 付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	76%	24%	0%	0%	0%	0%

### ■施設のサービス内容について

#### 問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	40%	33%	3%	0%	17%	7%
	その他:					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	27%	43%	10%	0%	17%	3%
	その他:					
園の目標や方針についての説明には	37%	57%	3%	0%	0%	3%
	その他:					
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	47%	40%	7%	0%	3%	3%
	その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	40%	44%	7%	3%	3%	3%
	その他:					
入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明については	37%	37%	16%	7%	0%	3%
	その他:					

#### 問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	47%	37%	6%	7%	0%	3%
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	37%	41%	3%	3%	6%	10%
	その他:					

#### 問4 日常の保育内容について

##### 遊びについて

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	40%	43%	17%	0%	0%	0%
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているか については	27%	50%	23%	0%	0%	0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置 いてあるか、年齢にふさわしいかな ど)	37%	43%	7%	7%	6%	0%
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなど の、園外活動については	30%	57%	13%	0%	0%	0%
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関 わりが十分もてているかについては	37%	46%	17%	0%	0%	0%
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくり への取り組みについては	33%	53%	10%	0%	4%	0%
	その他:					

##### 生活について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	70%	24%	3%	3%	0%	0%
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるか については	63%	27%	7%	0%	3%	0%
	その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗 いなど)の自立に向けての取り組み については	50%	37%	3%	0%	3%	7%
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じ て対応されているかなどについては	57%	37%	0%	3%	3%	0%
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お 子さんの成長に合わせて柔軟に進め ているかについては	37%	33%	10%	0%	17%	3%
	その他:					
お子さんの体調への気配りに ついては	53%	40%	7%	0%	0%	0%
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者 への説明やその後の対応には	43%	31%	13%	3%	7%	3%
	その他:					

### 問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	37%	47%	13%	0%	0%	3%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	43%	40%	10%	7%	0%	0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	30%	57%	10%	3%	0%	0%
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	47%	30%	17%	6%	0%	0%
	その他:					

### 問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	50%	40%	7%	0%	3%	0%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	47%	47%	3%	3%	0%	0%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	47%	43%	10%	0%	0%	0%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	43%	37%	17%	3%	0%	0%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	30%	54%	13%	3%	0%	0%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	44%	37%	13%	3%	3%	0%
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	40%	27%	20%	3%	10%	0%
	その他:					

### 問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	43%	37%	20%	0%	0%	0%
	その他:					
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	47%	47%	6%	0%	0%	0%
	その他:					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	33%	40%	7%	3%	10%	7%
	その他:					
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	40%	43%	17%	0%	0%	0%
	その他:					
意見や要望への対応については	33%	40%	20%	3%	4%	0%
	その他:					

### 問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	37%	50%	13%	0%	0%



## 観察方式による利用者本人調査

平成 26 年 11 月 11 日

施設名：あい保育園富岡東

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

### ◇0 歳児

#### 散歩

散歩に出掛ける前に、子どもたちはオムツを替え、ジャンパーを着せてもらったり、帽子をかぶせてもらったりし、全員の出発準備が整いました。子どもたちはバギー3台に3人ずつ職員に乗せてもらっています。肌寒い日で、子どもたちは鼻を拭いてもらいながら、職員に帽子をかぶせてもらっています。職員が出発の点呼をはじめ、名前を呼ばれた子どもをほかの職員が頭をさわり、確認しています。手を上げる子どももいます。全員の点呼が終わるといよいよ出発です。幹線道路沿いの歩道を行くと、途中で会う散歩中の人に「こんにちは」と挨拶をしています。暫くして民家が並んでいる小道に入ると、職員はさざんかや昼顔の花のある軒先でバギーを止め、子どもたちに「見てごらん」と指を指し、花の名前を話しています。小道の行き止まりの電車が良く見える場所にきて止まり、職員は2回目の点呼をしています。その間に赤色の電車や赤とクリーム色の電車が通過していきます。子どもたちは暫らくの間電車を見て、嬉しそうな顔をしています。再度、職員が出発の点呼をして出発しましたが、気持ちよさそうに居眠りしている子もいます。途中、道路際にメダカを飼っている家やキャラクターの人形が窓際に見える家の前で、職員が車を止め、子どもたちに声掛けすると、子どもたちは興味深そうにそれを見ています。途中、犬の散歩の男性とすれ違い、お互いに挨拶を交わして暫く行くと幹線道路に出て、まもなく園舎に到着しました。バギーの中で、2人の子どもが気持ち良さそうに居眠りしています。最後に職員が4回目の点呼をして、全員がいることを確認しています。

### ◇1 歳児

#### 午睡

1歳児の部屋は真中を低い棚で仕切り、食事用と遊び・午睡用に分けています。カーテンが閉められ、パジャマに着替えて、ほとんどの子どもは布団に横になっています。職員は着替えが済んでいない子どもを手伝い、最後の子どもの着替えが終わると電気を消し、子どもたちに「おやすみなさい」と声を掛けています。3人の職員が見守る中、静かに眠りについていきます。まだ、眠れない子どもには職員がトントンと軽く子どもの体に触れ、眠りを促しています。暫くして静かになって、子どもたちは眠りにつきました。

## ◇ 2 歳児

### お絵かきと絵本の読み聞かせ

2歳児10人に職員が3名、3つのグループに分かれ、お絵かきをしています。各自の自由画帳にクレヨンで、みんな思い思いの絵を描いています。調査員が子どもに「なに書いているの」と聞くと「怪獣だ」と見せてくれる子、また、「あんぱんまん」と言って、クレヨンで丸く円を書き、その中を塗りつぶしている子と、様々に絵を描いています。傍らで職員が見守り、「上手にかけたね」とほめると、ほめられた子どもは得意になってさらに一生懸命にクレヨンを動かしています。子どもたちの絵が描き終わるの見計らって、職員が「さあ、それではお片付けしましょう」と声を掛けると、子どもたちはクレヨン箱にそれぞれクレヨンを上手に入れていきます。うまくできない子どもには職員が手伝い、片付けの終わった子どもから手洗いを始めています。

絵を描いた後は「絵本の読み聞かせ」が始まります。

職員が絵本を取り出し、「トンボみつけた」のお話しを始め、話が終わると、「それではトンボのメガネのお歌を歌いましょう」と子どもたちに促し、子どもたちが歌いできました。また、子どもたちは「鯉のぼり」や「お月さまとだんご」の話に興味を持って聞き、その後で「こいのぼり」や「お月さま」の歌を次々と楽しそうに歌っています。「じしんがきたら」の絵本では、「地震がきたらどうするの」と子どもたちに職員が問いかけ、「おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない」の約束ごとの「お・は・し・も」の防災時の動作を子どもたちに教えています。

## ◇ 2 歳児

### 食事

子どもたちは食事前の手洗いを済ませ、3つのグループに分かれた机に食物アレルギーのある子と食物アレルギーのない子のグループにそれぞれが座り、食事が配膳されるのを待っています。今日の献立（パンとシチューとサラダにスープ）の説明を職員がしています。複数の職員がピンクのトレーに氏名と除去食名が書かれたメモを確認しあい、最初に食物アレルギーのある子どもに配膳しています。パンの代わりにごはんが盛り付けられ、それから、ほかの子どもたちに職員が配膳をしています。子どもたち全員がエプロンを付け、職員が腕をまくるように声掛けしています。子どもたちに口を拭くタオルが配られ、準備が出来たところで、各テーブルに職員と調査員も加わり、食事前に「パンの歌」と「給食の歌」を歌います。「それではいただきます」と挨拶をして一斉に食事が始まりました。隣同士でおしゃべりしながら、パンをおいしそうにかじりついている子、スプーンとフォークで上手にシチューを食べる子と、みんな賑やかに食事を楽しんでいます。野菜の嫌いな子は小さく刻まれたブロッコリーをさげ、マカロニだけをフォークで食べています。その間、職員も一緒にテーブルの子どもに声掛けしながら、食事を食べています。職員は、子どもがテーブルから落とした食材を素早く拾って、床を

きれいにしています。

職員は、食が進まない子に「頑張って食べようね」と声を掛け、野菜の嫌いな子には「少しでも食べようね」と励ましています。手づかみの子には、「フォークを使うようすすめています。既に食べ終わった子も何人かいておしゃべりを始めていますが、数人の子はまだ食べています。その子に職員が近寄り、お皿に残った食材を片方に寄せ、食べやすくしています。最後の子は野菜を残して「ごちそうさま」をしました。最後に「ごちそうさまでした」の挨拶で食事が終わり、職員は後片付けを始め、子どもたちは歯磨きに向いました。

### ◇ 3 歳児

#### 屋上園庭での遊び

屋上では、2歳児と3歳児と一緒に遊んでいます。屋上は人工芝が敷いてあり、みんなは裸足で気持ちよさそうに走り回っています。園庭のほぼ中央に大型の遊具が設置されています。大型遊具は滑り台、階段の上がり降り、窓やテーブルがある部屋のようになっている空間で、子どもたちは遊具の窓から外の景色を楽しんでいます。途中で電車が来たのが見えて、電車の行き過ぎていくのを眺めていました。

3歳児は滑り台が一番好きな様子で、みんなが順番に次々と滑っていきます。中には前の子どもが滑りきらないうちに滑り始め、追突の危険を感じたら職員は子どもに注意したり、制止をかけたりして危険を防止しています。走り回っているうちに友だちにぶつかり、1人の子どもが泣き出しました。その子どものけがの状態を職員が確認し、問題がなかったので、二人の子どもが解決にむけて最後まで話し合いができるように一人の職員が見守り、相手の子どもの謝って仲直りをしました。ほかの子どもたちは職員と一緒に走り回ったり、職員の足の上に数人が座って「おしくらまんじゅう」をして楽しんでいました。

#### 給食

給食の時間になると、準備ができるまで、職員が絵本の読み聞かせをしています。「はらぺこあおむし」の絵本を読み始めると、子どもたちは職員の周りに座って、職員の話真剣な表情で聞いています。

食事の準備ができると、給食の歌を歌い、みんなで「いただきます」と挨拶して、食事が始まりました。

初めの頃は、みんな静かに食べていましたが、友だちとの会話が始まり、昨日の家庭での話、家族の話始めてにぎやかに、楽しんで食べています。話に夢中になってきたため職員が「もう少し静かに食べましょう、でないと最後まで食べられないよ」と声をかけて、食事を促していました。

## 排泄

遊びの区切りに職員は、「トイレに行きたい人は行ってきて」と排泄を促しています。そのほかは子どもたちが行きたい時に職員に「トイレに行ってきます」と声をかけて、自由に用を足しています。

## ◇4歳児

### リトミック

リトミックの専門講師のリードで、リトミックが始まりました。子ども達はこれから始まるリトミックについての話を聞きます。みんな講師の話をじっと聞いています。一人の子どもが輪の中から飛び出して、お友だちを触ったり、おもちゃなどに触れながら走り回っています。職員と一緒にやろうと促すと、みんなの輪の中に入ってきて、リトミックに参加しています。ほかの子ども達は、気にする様子もなく、一緒に楽しんでいます。講師から1本の棒を貰い、ピアノに合わせて、「いちにい、いちにい」とワルツのリズムを取って体を動かします。また、座ってきらきら星の歌に合わせて、棒を叩いてリズムを取ります。次にピアノに合わせて歌を歌いながら走ります。途中で反対方向に向きを変えて走ったり、激しく走り回ったりして楽しんでいます。

## 食事

食物アレルギーの子どもは、誤食のないように、別のテーブルを用意してもらって食事をしています。食事が盛られたお皿には、ラップをかけ、氏名と、除去食名、内容が書いてあり、アレルギーのない子どもの食事と間違いがないようにしています。

## 5歳児

### 園庭遊び

子どもたちは園庭にある砂場で遊んでいます。今日のプログラムでは、砂場遊びが中心で、砂でプリンを作ろうということになっていましたが、子どもは砂の状態が普段より湿っているのに気が付き、「今日は砂が湿っているので、山を作ろう」と一人の子どもが発案し、みんなが賛成したので、職員はプログラムを変更し、子どもの発案通り、砂山を作ることにしました。みんなで山を作り、山の中に穴を掘り、車を走らせて遊んでいました。

## 午睡

5歳児は就学前なので、次第に午睡を減らしています。起きている子どもは、絵本を読んだりしながら、寝ている子どもの妨げにならないように静かに過ごしています。

## 横浜市第三者評価 あい保育園富岡東 事業者コメント

あい保育園富岡東は、平成25年4月に開園し2年目に入り、日々積み重ねてきた保育内容を、外部の目で客観的に評価して頂きたいと思い、第三者評価を受審しました。全職員で振り返り、見直し、確認を行ったことは、今までの保育を見直す事と明確になった課題や改善点に対して、丁寧に対応し取り組んでいきたいと思えます。

開園2年目で、保育の取り組みや地域との連携・交流を評価して頂き、職員の自信に繋がりました。

保護者の皆様には、お忙しい中、アンケートへのご協力有り難うございます。ご意見は今後の保育に活かし、保育の質の向上を目指していきたいと思えます。

最後になりましたが、今回の受審に関わって下さった皆様に心より感謝申し上げます。